

# ものづくり 高校生が提案 中区でコンテスト

取り組みを発表する高校生  
浜松市中区のアクトシティ浜松



高校生がものづくりやビジネスプランについて提案する「ものづくり・ことづくりプランコンテスト」(静岡理工科大など主催、静岡優秀賞に選ばれた。同

岡新聞社・静岡放送後援)が5日、浜松市中区のアクトシティ浜松で開かれた。県立富岳館高(富士宮市)が最

校は「被災地から世界へつながる究極のエコ資材」と題して発表。宮城県東松島市で、キノコの抽出物と製紙の廃材で作ったチップによる緑化活動に取り組んでいることなどを紹介した。

この日は、書類審査を通過した県内や山梨県の5校が10分間ずつ説明に立った。同校以外の生徒たちは地元商店街を応援する合唱歌の創作や、尿素の結晶を利用した「しおり作成キット」などをアピールした。